

RPF(固形燃料)とは

いつもお世話になっております。リサイクルクリーンの山田です。

ここでは改めて **RPF** についてお話させていただきます。**RPF** とは再生困難な廃プラスチック、古紙、繊維屑などを原料にした固形燃料になります。性質としては、石炭などの化石燃料の代替燃料になり、排出される二酸化炭素の量は化石燃料の 3 分の 2 に抑えられ価格も安価です。その上、燃料として焼却後の残渣は路盤材としても利用可能で、**RPF** は、排出事業者、処分会社、燃料使用企業ともに、メリットがあり、より良い循環型社会の構築ができると考えられます。

しかし、**RPF** は排出される、廃棄物（廃プラスチックなど）の量によって、生産量が左右され、またすべての廃プラスチックが **RPF** の原料として利用できるわけではありません。特に塩素などが入ったプラスチックは燃料（**RPF**）としての品質を下げってしまう恐れがあり、**RPF** を燃料として普及させるためには、定常的に原料となる廃プラスチックを回収する必要があります。

現在、**RPF** は、製紙会社、鉄鋼会社などに納品しています。廃プラスチックの排出量によって供給量が左右されるため、現状では多くの業種に供給できるのは難しい。廃棄物の担当者や廃棄物業界なら、**RPF** をご存知の方も多いと思いますが、一般的には広く知られていません。供給量などの今後の課題点などもありますが、もっと広く知られ、さまざまな業種で利用すれば、より良い循環型社会の構築になります。

廃プラスチックのリサイクルをお考えのお客様はぜひ、リサイクルクリーンへご相談ください。